

平成31年度

市 政 方 針

鉏 路 市



# 目 次

|     |              |       |    |
|-----|--------------|-------|----|
| I   | はじめに         | ..... | 1  |
| II  | 平成31年度市政執行方針 | ..... | 4  |
| III | おわりに         | ..... | 18 |



## I はじめに

### －ともにつながり ともに築く まちの「みらい」－

平成 31 年釧路市議会 2 月定例会の開会にあたり、市政執行方針について所信を述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成の時代が最後の年を迎え、新たな時代が幕を開ける本年、我が国の経済情勢は、平成 24 年 12 月から続く現在の景気拡大局面が「いざなぎ景気」を超え、戦後最長となった可能性が高いと発表されているものの、世界の情勢は目まぐるしく変化しており、先が見通せない状況にあります。

今や国難とも言われる人口減少問題については、平成 20 年をピークに減少に転じ、平成 29 年には 65 歳以上の高齢者人口の総人口に占める割合（高齢化率）が 27.7%と最高を記録するなど、世界的に見ても空前の速度と規模で高齢化が進行しております。

一方、年間出生数は平成 28 年に 97 万 7 千人となり、明治 32 年の統計開始以来、初めて 100 万人を割り込むなど、国と地方を挙げた懸命の取り組みにもかかわらず、我が国の人口減少に歯止めがかかる状況とはなっておりません。

さらに、大阪圏や名古屋圏にあっても転出超過が止まらない中、東京圏では国の人口の約3割が集中し、若年層を中心に転入超過が続くなど、人口減少のもうひとつの大きな課題である、東京一極集中につきましても、依然として是正が進んでおらず、また、北海道内で一極集中が進む札幌市においても、近年、人口増加のペースが鈍化するなど、「人口のダム機能」の役割が低下しつつあります。

釧路市では、これまで「域内循環」や「外から稼ぐ」取り組みの推進などにより地域経済の基盤を強化し、雇用機会の拡大を図るとともに、安全・安心なまちづくりを進めるなどの取り組みにより、親になる世代の定着を目指してまいりました。その結果、社会減少は近年、縮小傾向にあるものの、人口減少はなおも厳しい状況が続いております。

このような中、改めて、地方都市における人口減少対策は、次の親になる世代を確保することであり、若者が住み続けられるということは、このまち釧路で安心して働き、暮らすということでもあります。

働くための仕事・雇用を創ることは最も重要な施策であり、そのための経済の活性化、教育など人材の育成、産業の基盤整備、働きやすい環境をつくるための子育て支援など、まち・ひ

との将来につながる事業に重点的に投資していくことがこのまちの「みらい」につながるものと私は考えております。

私たちが住むこのまちには、これまで基幹産業を支え続けてきた高い技術力、国内外の観光客を惹きつける様々な魅力や資源があります。

そして、このまちを元気にしたいと願う、市民の皆様の熱い想いとエネルギーがあります。

次の世代を担う子どもたちに、責任を持って、夢と希望にあふれる「みらい」を引き継いでいくため、「まちづくり基本構想」の「域内連関」の理念を、市民の皆様としっかりと共有しながら、各分野における施策・事業を着実に推進することにより、目指すべきまちづくりの実現に努めてまいります。

以下、平成 31 年度の市政の執行方針についてご説明申し上げます。

## II 平成31年度市政執行方針

財政環境

国の平成31年度地方財政対策では、地方が人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方税、地方交付税等の一般財源総額については、前年度比でプラス1.0%、約6千億円の増加となりました。

これに対し、本市における平成31年度の一般財源の総額は、前年度比プラス0.2%、約1億円の増に過ぎない状況となっており、特に、市税、地方交付税、臨時財政対策債の合計額は、マイナス0.9%、約4億1千万円の減が見込まれます。市税収入では、固定資産税は家屋の新增築や償却資産の新增設などによる増収が見込まれるものの、法人市民税や市たばこ税などにおいて減収となる見込みであることから、平成30年度当初予算と比較して、全体でプラス0.3%、約6千万円の増と、ほぼ横ばいとなっており、市町村の税収が2.1%増えるとされている国の地方財政対策とは大きな乖離が生じております。

予算編成

このような厳しい財政状況にありながらも、「まちづくり基本構想」に基づき、限られた財源を目指すべきまちづくりの実現に向けた取り組みに重点的に配分できるよう努めたところがあります。

まちの活力を高める  
経済の活性化

また、建設工事の発注につきましては、年度内における発注時期の平準化、春先の受注機会の拡大や雇用環境の改善などを目的として、平成 31 年度発注予定工事の一部について、平成 30 年度に引き続き「ゼロ市債」事業としております。

まちの活力を高める経済の活性化は、市民の安定した暮らしの基礎となる雇用をつくります。雇用がうまれると、教育や福祉、医療などの生活基盤が整った、安全で安心な地域社会としての「まち」へと発展していきます。

誰もが健康で安全に安心して、生まれ、育ち、生きがいを持って暮らし続けることができる「まち」。

次世代を担う若者が地域の「みらい」に希望を描くことができる「まち」。

ひがし北海道の拠点都市である釧路の「みらい」に向け、地域経済を担う人材を育て、経済活動を支える都市機能の向上を図り、経済の活性化につなげるための「投資」となる施策に重点を置き、平成 31 年度予算を編成したところであります。

「外から稼ぐ」力を高めるため、企業の生産体制、技術向上や販路拡大などの地盤づくりへの支援を行うとともに、企業の持つ強みを引き出し伸ばす、釧路市ビジネスサポートセンター k-B i z の相談対応体制の強化を図ってまいります。

豊かな自然環境に恵まれ、多様な文化を有する釧路は、観光の分野において、国内外からの注目を集め、観光立国ショーケース、国立公園満喫プロジェクトに選定されるなど、世界一級の観光地づくりを目指して、成長を続けております。

観光立国ショーケースの最終年に向け、釧路、阿寒、音別、それぞれの地域特性を生かした観光資源の磨き上げを行い、訪日外国人旅行者誘客に向けた受け入れ態勢の整備を地域一丸となって進め、目標達成に向けて各種施策の取り組みを加速させてまいります。

また、台北市立動物園へ繁殖貸与しているタンチョウの新しい飼育舎完成式典をきっかけとし、天然マリモの貸与など、学術交流を一層深めるとともに、海外交流の促進や世界一級の観光地としての釧路の魅力を伝える好機ととらえ、様々な連携事業を展開してまいります。

地域経済を担う人材の育成は、経済の活性化に欠かせない取り組みであります。自分たちが暮らすまちの歴史等を学ぶ地域教育やキャリア教育などを通して、地元に着や誇りを持つ人材を育てるとともに、就労支援やU I J ターンの推進などにより、地域を支える人材の育成・確保に努めてまいります。

経済活動と住民生活を支える都市機能の向上は、ひがし北海道の人流・物流機能をさらに高めることにつながります。大都市圏と釧路をつなぐ陸路となる幹線道路網の整備促進、海路と

なる港湾機能の充実、空路となる「たんちょう釧路空港」の機能向上など、陸海空の人的・物流拠点としての充実に努めてまいります。

併せて、まちづくり基本構想の着実な推進により目指すべきまちづくりを実現すべく、以下、分野別の取り組みを述べさせていただきます。

第1章「福祉・安全安心」では、誰もが幸せで安心な暮らしづくりを進めるため、幼児教育にかかる費用の無償化や多子世帯への保育料の負担軽減、医療費の無料化の対象を小学校就学前まで拡大するなど、利用者負担軽減措置の拡充を図り、子育て世帯のさらなる経済的負担の軽減を図ってまいります。

また、新たに市立釧路総合病院との連携により、産後の母親の心身のケアや育児サポート等の支援を行う産後ケア事業を実施するほか、子育て支援拠点センターにおいて実施する利用者支援事業により、子育て世帯へのきめ細かなサポートを行います。さらには、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定に取組み、安心して子どもを産み育てられる環境整備を進めてまいります。

市立釧路総合病院では、釧路・根室圏域における地方センター病院として高度急性期医療の機能を確保していくことが重要でありますことから、改めて、新棟建設に向けて検討を進めます

とともに、医療機械等の充実に努めてまいります。高等看護学院では教育環境の充実を図るため、引き続き改築工事を進めてまいります。

休日・夜間の入院治療を必要とする小児の重症救急患者に対する医療を確保するため、実施病院への支援を継続するなど、市民が安心して医療を受けることができるよう、救急医療体制の充実に努めてまいります。

市民の健康増進を目指し、釧路公立大学と協働で開発するアプリによる健康ポイント事業を実施するほか、若者健診やキッズ健診の実施などにより、若い世代からの生活習慣病の予防、早期発見、重症化予防に取り組みます。

がん対策につきましては、かかりつけ医による受診勧奨や子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券の配布を継続し、がん検診の受診率向上と早期発見に努めてまいります。

高齢者の外出と社会参加を促し、生きがいづくりと健康づくりを促進するため、70歳以上の方すべてを対象にした高齢者外出促進バス事業を新たに実施いたします。

また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの充実に向け、引き続き、在宅医療と介護の連携や、新しい総合事業、介護サービス基盤の整備などの取り組みを進めてまいります。

障がいのある方々が地域で安心して暮らせるよう、障害福祉

サービスの充実に努め、小学校就学前の障がい児への利用者負担の無償化など、今後も障がいのある方々の生活と就労に対する一層の支援の充実に努めてまいります。

生活困窮者等の自立支援につきましては、包括的な相談支援体制の構築や就労支援の取り組みなどが着実に成果を上げてきた中で、引き続き、経済的自立や日常生活・社会生活自立へ向けた支援を行ってまいります。

また、消費税引き上げによる低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的にプレミアム付商品券の発行を行います。

町内会等と連携し、災害時に自力避難が困難な方の避難支援体制の構築や地域安心ネットワーク事業による地域の見守り活動等に取り組み、地域の相互扶助機能向上を図ってまいります。

様々な自然災害リスクの高まりに対し、自衛隊等の関係機関と連携した防災総合訓練の実施、土砂災害警戒区域ごとに素早く避難勧告等を配信できる仕組みの確立などに取り組むとともに、高規格救急自動車等の消防資機材の整備、消防団活動の強化など、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、新たに訓練施設を備えた西消防署・第9分団庁舎の建設により、消防体制の強化を図ってまいります。

安全安心な生活を守る防犯の取り組みにつきましては、阿寒地区における防犯灯のLED化を実施するなど、防犯活動の充

実に努めてまいります。

第2章「環境・教育・文化」では、郷土を愛する心豊かなひとづくりを進めるため、雄大な自然環境の恩恵を受けながら、特別天然記念物であるタンチョウや阿寒湖のマリモなどの保護・研究に取り組み、自然と共生したうるおいあふれる環境調和都市の実現を目指してまいります。

性別にかかわらず、ともに協力し、個性と能力を十分に発揮できる男女平等参画社会の実現に向け、「くしろ男女平等参画プラン」による取り組みを継続してまいります。

アイヌ文化の保存・継承を図るため、伝統的生活空間・イオルの再生事業に取り組み、伝承活動に必要な自然素材の育成や体験交流を通じた普及啓発などを進めてまいります。

移住定住・長期滞在につきましては、民間事業者との連携による受入環境の整備等を継続し、交流人口の拡大に努めるとともに、新たに若年層を対象とした、くしろお試しワーキングホリデー事業による移住促進の取り組みを進めてまいります。

教育につきましては、「釧路市教育大綱」の基本的な考えに基づき、学校教育では、子どもたちが社会や世界に向き合い、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むため、復習教材の導入や小中連携による中学校への円滑な接続等に取り組み、基本的な学習習慣と学力の基礎・基本の定着を図ることで、

児童生徒の基礎学力の向上を目指してまいります。

併せて、より豊かな国際感覚を育成し、語学力、コミュニケーション能力を深めるため、外国人英語指導助手の増員により、外国語学習の指導体制の充実を図ります。

次代を担う子どもたちの知的好奇心を高め、無限の可能性を引き出すため、こども遊学館のプラネタリウムを更新いたします。

また、東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、ホストタウンとして、ベトナムからの事前合宿の受入や市民との交流事業を実施するほか、12月から開催される第92回日本学生氷上競技選手権大会においては、全国から集う選手、役員の皆様をおもてなしの心を持ってお迎えするとともに、釧路の魅力を全国に発信してまいります。

第3章「経済・産業」では、域内循環と外から稼ぐ力を高める仕組みづくりを進めるため、農林業におきましては、国営緊急農地再編整備事業や道営草地畜産整備事業を活用し、農地の大区画化や公共牧場の整備を進め、農業生産基盤の充実を図るとともに、新たに創設された森林環境譲与税を活用しながら、適切な森林管理や地域材の利活用の推進などを通じて、森林資源の循環利用を進めてまいります。

水産業につきましては、安定した漁業生産体制を確立するた

域内循環と  
外から稼ぐ力を  
高める仕組み  
づくり

め、桂恋、千代ノ浦の両漁港の整備や増殖事業の推進に取り組むとともに、水産加工品開発の支援やくしろプライド釧魚事業などを推進し、引き続き水産物の消費拡大を図ってまいります。

また、魚揚場事業会計につきましては、経営健全化計画の終了に伴い特別会計へ移行し、引き続き水産関係者等と協働しながら魚揚場施設の整備を進め、安全で高品質な水産物の流通を推進いたします。

鉱工業においては、国内唯一の坑内掘稼行炭鉱である釧路炭鉱が高度な技術水準を保ちながら、長期存続が可能となるよう、地域の石炭を燃料とする火力発電事業への支援や周辺環境の整備を行うとともに、海外産炭国に対する研修事業の継続に向けて取り組んでまいります。

観光においては、DMO法人の体制強化への支援を継続するとともに、釧路市街地中心部における周遊の促進と宿泊者数の増加を図るため、官民が連携して各種事業を展開してまいります。阿寒湖温泉地区においては、自然、異文化、体験を組み合わせたアドベンチャーツーリズムを推進するほか、アイヌの伝統文化と最先端デジタルアートによる新しいアイヌ舞踊や夜の森におけるデジタルアート・パフォーマンスなど、新たな観光コンテンツの創出に努めてまいります。音別地区においては、観光コンテンツの開発に向けた取り組みを新たに進めてまいります。

また、海外からの誘客促進につきましては、台湾、中国などを重点市場とし、観光PR動画によるデジタルプロモーションを中心に情報発信の強化を図るとともに、訪日外国人旅行者が快適に滞在、周遊していただける環境の整備に継続して取り組んでまいります。

産業支援としては、金融機関等と連携した商談会開催などに引き続き取り組み、地場製品の普及促進と販路拡大を図るほか、I o Tの活用に向けた支援を行ってまいります。

豊富な地域資源、整備された都市インフラ、冷涼な気候などの地域特性を生かした企業誘致を進めるとともに、企業立地を推進するため、企業立地助成制度にかかる上限額の引き上げを行います。

東京圏を中心としたU I Jターンの促進を図るとともに、市内高校との連携事業を通じて、わかものに地元企業の情報や魅力を伝え、優秀な人材の確保・定着に取り組んでまいります。

また、音別地区における「富貴紙」づくりにつきましては、地域の誇りとなる価値の高い和紙づくりを引き続き進めてまいります。

第4章「都市構造・都市基盤」では、拠点都市として持続可能なまちづくりを進めるため、都市づくりの理念や目指すべき都市像、土地利用や都市施設のあり方などを総合的に示す都市

拠点都市として  
持続可能な  
まちづくり

計画マスタープラン等の見直しを進めるとともに、地域公共交通再編実施計画に基づくバス路線再編に伴い、乗換拠点の待ち合い環境の整備など、利用者の利便性の向上に取り組んでまいります。

駅周辺整備につきましては、都心部の将来像やまちづくり方針を示す釧路都心部まちづくり計画「基本構想編」を踏まえた「事業構想編」の検討を進め、観光客の玄関口、商業・業務機能の集積地である都心部の賑わい創出に取り組んでまいります。

道路につきましては、引き続き、北海道横断自動車道釧路西インターチェンジまでの早期開通に向け整備を促進するほか、生活道路の整備、橋梁等の計画的な維持修繕、避難用道路の整備を進め、安全で円滑な交通を確保し、地域の住環境の向上を目指します。

釧路港につきましては、国際バルク戦略港湾としての民間埠頭運営開始を3月中に予定しており、今後はより効率的な海上輸送網の構築に努めるとともに、島防波堤や新西防波堤等の整備を進めるなど港湾機能の充実を図ってまいります。

併せて、釧路港の利用拡大に向けたポートセールスや近年、寄港が増加傾向にあるクルーズ船の誘致活動に取り組んでまいります。

たんちょう釧路空港につきましては、新規就航した定期路線を定着化させる取り組みを強化するとともに、道内7空港一括

民間委託を推進し、ひがし北海道の拠点空港としてのさらなる利便性向上や、新規の観光客誘致が図られるよう取り組んでまいります。

また、国内線の定期路線や季節運航路線の利用促進、国際線の定期便やチャーター便の就航に向け、様々な取り組みを進めてまいります。

住宅につきましては、公営住宅等長寿命化計画に基づく大規模改修等や鳥取団地公営住宅、阿寒湖温泉地区における特定公共賃貸住宅の建設に着手いたします。また、適切に管理されていない空家等につきましては、解体費補助制度により除却を促進するなど、居住環境の整備を推進してまいります。

水道事業及び下水道事業につきましては、引き続き効率的な事業運営による財政基盤の強化により、持続可能な事業経営に努めるとともに、愛国浄水場更新事業や大楽毛処理区汚水貯留施設の整備を行うなど、安全で安心な水の供給と良好な水環境の保全に努めてまいります。

公園につきましては、緑あふれる環境を整えるため、文苑中央公園の整備を完了させるとともに、昭和18号公園の整備を進めるほか、昭和東公園の設計に着手いたします。

併せて、利用者の安全を確保するため、照明灯のLED化を促進いたします。

市民と行政が  
共に輝く  
みらいづくり

第5章「市民協働・行財政運営」では、市民と行政が共に輝くみらいづくりを推進するため、輝くまちづくり交付金事業に取り組むほか、2020年のオープンに向けて松浦地区複合公共施設の建設工事に着手するなど、公有資産マネジメントの観点から公共施設全体の適正化に努めてまいります。

また、釧路の地場産品等の魅力を全国に発信するとともに、健全な財政運営に寄与するため、ふるさと納税推進事業に取り組むなど自主財源の確保に努めてまいります。

公共料金

次に、公共料金についてであります。

国民健康保険制度につきましては、平成31年度の国保料を当該年度分の北海道に納付する国保事業費納付金等を基に算定した結果、平成30年度と比較し、一世帯当たりの平均保険料は医療分と後期高齢者支援金等分の合計で625円の増、介護分の一世代当たりの平均保険料は693円の減となりました。

また、国民健康保険運営の安定化を推し進めるため、国保基金を活用した特定健診費用の無料化事業を推進しながら、被保険者の健康寿命の延伸や医療費の抑制等に取り組んでまいります。

組織・機構改革

組織・機構改革につきましては、将来にわたり持続可能な財政構造を構築する体制を強化するため財政部を新設いたします。

釧路市定員適正化計画に基づき、適正な配置に取り組んだ結果、市立釧路総合病院を除く部局の職員定数は減員 45 人、増員 13 人、差引 32 人の減となりました。

今後とも「簡素で効率的な市役所」の実現を目指し、全体として定員を抑制しつつ、限られた経営資源を有効活用できる行政執行体制の構築に取り組んでまいります。

本市一般会計の歳入予算は、地方交付税が市税を大きく上回る構造にあり、平成 31 年度予算におきましても、一般財源総額約 525 億 2 千万円のうち、市税は 39.1%の約 205 億 5 千万円であるのに対し、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた比率は 50.3%となっており、国の地方財政対策の影響を受けやすい状況にあります。

本市が自立的発展を目指すためには、自主財源の比率を高めることが重要であり、限られた財源を市税の増収につながる取り組みに集中的に「投資」するため、スクラップアンドビルドを徹底することや、税外収入をはじめとした自主財源の確保に努めるなど、長期的な視野で引き続き財政構造の改革を進めてまいります。

### Ⅲ おわりに

「今はないものについて考えるときではない。

今あるもので、何ができるかを考えるときである。」

アメリカの小説家アーネスト・ヘミングウェイの言葉であります。

コロポックル（アイヌの言葉で<sup>ふき</sup>露の葉の下の人を表す）伝説の里、音別<sup>むり</sup>霧里地区。

豊かで清らかな音別川を水源とする、その周辺には高さが2メートルにもなる<sup>おおぶき</sup>大露が自生するなど、住民にとって露は常に身近なものであり、その清らかな水は大塚製薬工場進出の決め手のひとつになったとも言われております。

現在、音別地域では、誇るべき地域の資源である露の栽培・加工・販売を通じた稼ぐ仕組みを構築し、新たな雇用を生み出すとともに、誰もが生き活きと暮らし続けられる持続可能な地域づくりを目指す挑戦が始まっております。

その中心となるのが、平成29年5月に地域住民有志で結成された「音別ふき露団」であります。

この試みは大きな広がりを見せ、地元の信用金庫、生活困窮者の支援団体、障がい者や若者支援団体、地元企業、k-Bizのスペシャルアドバイザーでもある東京のクリエイター、行

政など、多くの人々が関わりながら進められております。

この取り組みは、「釧路市まちづくり基本構想」の地域内の様々な主体がテーマを共有し、それぞれの強みや地域資源を生かしながら付加価値の創造や地域課題の解決に向けて行動する考え方である「域内連関」に通じるものであります。

ないものを求めるのではなく、今そこにあるものを生かし、様々な分野の人々が関わりながら地域を元気にし、笑顔の輪を広げたい。

私は、「音別ふき露団」の皆様を中心としたこの取り組みに、地域の大きな可能性、そしてこのまちの明るい「みらい」を確信しております。

今、音別地域では、このほかにもカラマツやキクイモなど地域の資源を生かした、様々な挑戦が続いております。

本年は平成の時代が最後の年を迎え、新たな時代が幕を開けます。

私たちの先達が幾多の困難を乗り越え、今日の釧路市発展の礎を築き上げてきたように、今を生きる私たちも地域一体となって様々な困難に挑戦し、次の世代に誇れる確かな「みらい」を築き上げてまいりましょう。

議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、平成31年度の市政方針といたします。